

日本医師アマチュア無線連盟会報

No.72



大塚国際美術館 『シスチーナ礼拝堂壁画／ミケランジェロ／ヴァティカン』

第36回 MARS 総会を修了して

MARS 会長 JA7AOM 及川 忠人(岩手県)

第36回 MARS 総会が平成24年6月9日(土)～10日(日)に大阪市で開催され、有意義な総会となりましたことをご報告申し上げます。その設営にご多忙の中ご尽力頂きました MARS 名誉会長東條純一先生に心から感謝

申し上げます。第35回 MARS 総会は平成23年3月11日に発災しました東日本大震災により昨年の4月の開催が延期され、昨年10月22日(土)～22日(日)に東京にて MARS 副会長 井上文正先生ならびに東京地区の会員の

御支援・御協力により有意義な総会が開催されました。それからまだ8ヶ月ほどしか経過していない中での MARS 総会開催となりました。今回は東條先生が率先し「どのようなハムが参加しても有意義に感じる内容」を目標に吟味され、特別講演者に JA3AOP 局 杉山 暁氏をお招きし、素晴らしい「ハムとしての最先端の分野の話」を聞くことが出来ました。

MARS 総会は会員相互の親睦が大きな目的の一つですが、ハムの最先端のことを学ぶ絶好の機会でもあり、今回の特別講演はとても素晴らしいものになりました。特に DX 通信を趣味として深めようとしている会員各局にとっては願ってもない内容でありました。杉山氏の御講演で3D 地図ナビゲーターは、基本的地理的データを基本とし、ある特定の地域における地理的状況を三次元的に再現できることが可能となることが分かり、またアンテナ機能解析ソフトや HF 通信予測が黒点の出現状況から DX 通信の成否に大きな影響を与え、その DX 通信の可能性の予告までが可能になっていることに驚きを覚えました。これからの DX 通信技術の流れに大きな貢献をするソフト開発ではないかと思いとでも感慨の深い内容が網羅されていると思いました。ハムの日常活動への支援との意味からも参会者へのハム・ソフトのCD配布までご配慮頂いた御講演には敬服するのみで感謝でありました。

講演会のあと楽しい懇親会が開催され、今年は例年より3エリアの会員諸先生方の参加が多くにぎやかな会になりました。また今回総会の設営にあたられた東條純一先生が本年3

月に2回目のXT(アフリカ)から交信活動実施状況の報告が現地のスライドを合わせてご発表いただき、アフリカの現状を知る貴重な機会となり、誠に有り難いことでした。特に様々な環境の異なる中でのご準備は大変であったことが、理解出来るような気が致しました。中々アフリカの実情を知る機会と現状を理解することは異文化と環境の異なる地域での活動を現実に実施することへのご尽力は言葉では言い尽くせぬものがあると思われました。

今年は総会出席者は24名であり、翌日19名の会員がエクスカージョンに参加して下さいました。6月10日(日)午前7時30分にホテルを出発し、一路淡路島を目指しました。途中で立派な明石海峡大橋を通過して淡路島の間地点に到着したのは10時前であり、前日のMARS 総会特別講演者の杉山暁氏のシャックを訪問することになりました。淡路島東側に聳える「夢のシャック訪問」となりました。まず驚いたことは、相当な高台にそのシャックが存在することでありました。DX を目的にバンド毎の素晴らしく巨大なアンテナがタワー上に張り巡らされており、よくよくシャックには立派な通信送受信機が並び、加えて様々なアンテナ等の調整装置が配備され、コンテスト等にも使用できるような、キッチンと寝袋にても休むことの可能な場所が確保されており、とても素晴らしい将に「夢のシャック」でありました。加えてこの建物はアメリカ産で、キャンピングカーをそのまま用いていて、シャックの後ろ側にまわりますと、このシャックそのものの車輪が見えてキャンピングカーを用いていることが良く理解できまし

た。また遠路和歌山県まで見晴らせるロケーションは何とも素晴らしい景観でありました。

杉山暁氏の夢のシャックの訪問を後にして、鳴門海峡大橋を通過して徳島県鳴門市にある「大塚国際美術館」を訪れました。約 2 時間の案内でしたが、あまりにも沢山の古典的な名品の数々が多く展示所蔵されており、すべて原画を陶器に焼き直した原寸大のものが展示されており、滋賀県の系列会社にて作成し、約 2000 年の耐久性が保障されて云る製品であるとのことでした。

最初に通されたのは、イタリアのローマにあるバチカン市国のカトリック教会総本山聖ペテロ寺院に隣接してある「シスチーナ」礼拝堂を原寸大に復元した場所に入りました。まず椅子にすわりながら、大塚国際美術館の構成を説明して頂きました。西洋美術史を正確に古代・中世・ルネッサンス・近代等と分類し、時代時代の世界的な代表作品を、実物大に陶器印刷技術で原寸大に復元したものでありました。大塚製菓創業 75 年の記念として建築されたとのことでした。

私は約 35 年前に結婚してデンマークに約 1 年 3 か月留学し、その時の夏休みにローマを訪れ、シスチーナ礼拝堂を見学したことを思い出しました。その場におられた神父さんが「Silentium！（シレンツウム！静かに！）」と訪問者に呼びかけていて荘厳さがとても印象的でありました。ミケランジェロが不眠不休で描いた天井画を見上げて、旧約聖書「創世記」の天地創造の内容が克明に描かれている圧倒的な巨大な絵に驚いたことを思い出しました。

そのころの原画は小生の記憶では、もう少し黄褐色気味の色合いでした。約 10 数年前に約 8 年位の年月を掛け、この天井画（フレスコ画）を再度描かれた時代のものに復元する大変な修復作業がなされて、今見るミケランジェロの天井画は復元されたものなそうです。最初に見た 35 年前の内容とは繊細な色彩のタッチが異なるものでありましたが、とても鮮やかな色彩感が出ていて、大変な感動を覚えました。またレオナルドダビンチの「最後の晩餐」の絵も留学時代に実物を見学したことがありました。それが復元されて、復元以前の絵と、復元後の絵が両側に展示されていました。幾分イエスキリストの口元が復元後の絵では何かを話されているイエス様のような雰囲気を感じましたが、専門家の意見を伺わないと分からないと思いました。いずれにしても、有名なダビンチのモナリザ、ミレーの晩鐘、モネの水辺の多くの作品、ドラクロアの作品、ゴッホの有名な作品等、どれをとっても美術愛好家にとっては、みのがせない作品が勢揃いしていることに驚きました感動致しました。

大塚国際美術館の見学後に鯛料理「梅丸」にて素晴らしい昼食を頂き、充実したエクスカージョンの日程を順調にこなし、新神戸駅、伊丹国際空港、そして新大阪駅にて三々五々現地解散となりました。とても素晴らしい天候にも恵まれ、多くの MARS 会員の参加を頂き嬉しく思いました。このような有意義な企画を計画立案され実施にご尽力頂きました東條純一先生に重ねて感謝申し上げ第 36 回 MARS 総会の報告に替える次第であります。

MARS 会員都道府県別分類

(J A 1) 19局

東京都 JA1FF JA1BOW JF1SXY
 JK1AIN JL1BGP JP1HIS
JH7WКУ JR9FQO

神奈川県 JH1IAA JE1TNL

埼玉県 JR1CDJ JR1JIC JE1MMK
 JL1LRJ

茨城県 JI1VAH

群馬県 JA1KXT JR1SJD

千葉県 JM1BIX

栃木県 JO1RTV

山梨県 なし

(J A 2) 7局

愛知県 JA2DQH JH2QBQ JR2AXV
 JG2XEJ

静岡県 JA2BIV JE2ANG JO2DBR

岐阜県 なし

三重県 なし

(J A 3) 30局

京都府 JA3ASU JH3SQM JH3SQN
 JR3HFS JR3JJQ JF3BIE
 JF3ITN JF3NXJ

大阪府 JA3BQT JA3LDH JA3WKF
 JH3AEF JH3MWR JR3KBI
 JR3LJI JE3RZA JF3EKP
 JF3MTM JJ3MIG JL3SIK
 JO3VKD

滋賀県 JF3PMG

兵庫県 JA3XED JH3GOB

奈良県 なし

和歌山県 JH3TCC JF3JON JI3CIN
 JJ3KUL JM3BCQ JN3ASW

(J A 4) 4局

岡山県 JE4EWM(exJA5LDZ) JG4JFW

広島県 JH4DPL JH4UYB

鳥取県 なし

島根県 なし

山口県 なし

(J A 5) 3局

香川県 なし

徳島県 JA5GPJ JA5POS

愛媛県 なし

高知県 JH5KAJ

(J A 6) 5局

福岡県 JA6BMB JA6RQK JH6IBM
 JG6DAO

大分県 なし

熊本県 なし

宮崎県 なし

鹿児島県 なし

佐賀県 JR6EZJ

長崎県 なし

沖縄県 なし

(J A 7) 20局

青森県 JA7VAB JR7BWP

秋田県 JH7MSL JE7MMC

岩手県 JA7AOM JA7PPA JH7IIR
 JH7OLB JH7XGQ JE7EDF
 JG7CRJ

山形県 なし

宮城県 JA7EVM JA7WTH JH7CAI
 JH7EQW JH7QFA JR7CAD
 JP7DMV

福島県 JA7FHH JE7GFM

(J A 8) 3局

JA8JDQ JA8RSJ JI8MVL

(J A 9) 3局

富山県 なし

石川県 JK1QLR

福井県 JH9HDD JE9RWF

(J A 0) 4局

新潟県 JAOCEP JA0HGN JH0LME
 JE0BWH

長野県 なし

_____は他エリアからの移動局
 計 98 局 (2012 年 11 月末現在)

第 36 回 M A R S 大阪総会

平成24年6月9日(土) メルパルク大阪にて

MARS総会・懇親会・エクスカージョン参加者(順不同)

JA1FF	国府田 守雄
JK1AIN	中村幸伸
JL1BGP	井上文正
JL1XWR	喜代
JR1SJD	井上 博
JG1FNL	裕子
JH2QBQ	丸山 暢
JH2UDD	成子
JA3ASU	狭山信矩
JA3LDH	高井康之
JF3BIE	鍵本伸二
JF3EKP	三好敏之
JF3JON	田中憲児

JF3MTM	柴田敏弥
JH3AEF	東條純一
JH3GOB	稲見 修
JH3SQM	郷原憲一
JH3SQN	望美
JH3TCC	家田勝幸
JJ3CIN	仲井間憲要
JO3VKD	村田雄二
JA7AOM	及川忠人
JH7QFA	渡辺孝志
JR9FQO/1	松井健一
JE9RWF	岩堀嘉和

開会・司会進行 JH7QFA 渡辺孝志(宮城県)

会長挨拶 JA7AOM 及川忠人(岩手県)

議長選出 JH2QBQ 丸山暢氏(愛知県)を選出

平成23年度庶務報告 JL1BGP 井上文正(東京都)

平成24年6月9日現在会員数

1エリア19名(1)

2エリア7名(1)

3エリア33名(3)

4エリア4名

5エリア3名

6エリア5名(1)

7エリア20名(4)

8エリア4名

9エリア3名

0エリア4名(1)

合計102名(11) ()内は会費の長期未払い者

平成23年度事業報告

1) MD NET JH7QFA 渡辺孝志

7MHz(40M)ロールコール

23. 10. 26~24. 24. 6. 6.

局名	コンタクト回数
J A 1 F F	1 9
J A 1 K X T	1
J R 1 C D J	9
J R 1 S J D	1 6
J L 1 B G P	2 2
J L 1 L R J	1 0
J H 2 Q B Q	1 4
J H 3 A E F	2 3
J H 3 G O B	2 3
J I 3 C I N	1 8
J A 7 A O M	2 4
J A 7 W T H	7
J H 7 E Q W	1 0
J H 7 Q F A	2 9
J P 7 D M V	8
NO contact	5

昨年は3. 11の大震災のためMARSの第35回総会は秋に東京にて開催されました。そのため今回のカウントは23年10月26日から24年6月6日までのカウントになっております。

例年の様に23年の12月半ばから

24年1月中は電離層によるコンタクトが取れずにその間1回は地上波でのJH7EQW局とのコンタクトだけになっております。

朝の時間、お空のコンデションが開けない時にはAEFさんCINさんにコントローラーをお願いする事もありましたがこのところFFさんにはいつもファーストコールを取って頂いております。

昨年はJR3HGY, JF1EJS, JM7USW(3.11の津波で)でサイレントキーになりました。ご冥福をお祈り致します。

JH3AEF OM

今年もアフリカXT(BORKINA FASO)からQRV、JA1KXT OMとコンタクト出来たことはFBでした。

現地の局長さん他との交流、Rigをプレゼントして来られたとか、氏のアクティブさに今年も脱帽。

7MにQRVの新入会員各局

J P 7 D M V	姉齒秀平 先生
J A 7 W T H	中川 洋 先生
J F 3 M T M	柴田敏弥 先生

2) MARS News JF3JON 田中憲児(和歌山県)

3) MARS AWARD 渡辺孝志

平成23年度決算報告ならびに監査報告

平成23年度 会計報告 JL1BGP 井上文正 平成24年6月9日

収入の部	予 算	決 算
繰越金	1,823,369	1,823,369
会費収入	560,000	0
その他	0	0
利子	0	169
合計(A)	2,383,3639	1,823,528
支出の部	予 算	決 算
MARSニュース	500,000	252,315
MARSアワード	20,000	0
ホームページ管理費	120,000	0
送料通信費	30,000	47,250
総会助成金	100,000	100,000
医学会総会ソーシャルイベント	233,000	233,000
事務用品費	5,000	740
事務員謝礼	60,000	60,000
慶弔費	50,000	20,420
雑費	5,000	0
合計(B)	1,168,000	713,725
(A)-(B)=次年度繰越額	1,215,369	1,109,803

平成23年度会計監査報告

帳簿、通帳、領収書等を厳正に確認した結果、会計は適正に行われていることを証明します

平成24年6月9日

監事

JA1FF

国府田守雄

MARS ホームページ報告 JH3TCC 家田勝幸(和歌山県)

議事

1) 平成24年度事業計画案 JA7AOM 及川忠人

①MD ネットの充実を図る

②MARS News の充実を図る

③MARS アワードの継続

④MARS ホームページの充実を図る

- ⑤災害時の MARS Network の検討を進める
 ⑥MARS 新入会員の増加活動を推進する
 ⑦MARS CALL BOOK の編集・改定を行う
 ⑧その他

2)平成24年度予算案 JL1BGP 井上文正

収入の部		支出の部	
繰越金	1,109,803	MARSニュース	300,000
会費収入 (23,24年度)	1,200,000	MARSアワード	30,000
合計(A)	2,309,803	ホームページ管理費	120,000
		送料・通信費	30,000
		総会助成金	100,000
		事務用品費	5,000
		事務員謝礼金	60,000
		慶弔費	20,000
		雑費	5,000
		合計(B)	670,000

(A) - (B) = 次年度への繰越金 1,639,803

3)役員改選

役職	コールサイン	氏名	理事	JP1HIS	奈良 圭之助
名誉会長	JA1FF	国府田 守雄	理事	JA3ASU	狭山 信矩
名誉会長	JH3AEF	東條 純一	理事	JH3TCC	家田 勝幸
監事	JA1FF	国府田 守雄	理事	JF3JON	田中 憲児
監事	JH3GOB	稲見 修	理事	JH6IBM	石井 文理
会長	JA7AOM	及川 忠人	理事	JH7QFA	渡辺 孝志
副会長	JL1BGP	井上 文正	理事	JH7OLB	岩動 孝
副会長	JA1KXT	相田 信男	理事	JH0LME	姉崎 静記

4)その他

JM1ZZM の運用方法について

平成25年度開催地 未定だが、候補はOエリア

閉会

JA3AOP 杉山 暁 OMから頂いたメッセージ

日本医師アマチュア無線連盟の総会、ならびに関連行事のご成功お祝い申し上げます。

土曜日、新大阪に降りたとたん土砂降り、慌てて傘を求めました。お天気を心配しましたが、結果は味方してくれましたね。準備不足で至らないところが多くありましたが、なにとぞご容赦のほどお願いいたします。また、過分のお礼を頂戴いたしまして恐縮しております。有難うございました。

昨日は、皆様にご出発された後、クリエート・タワーの CD78 の調整を行いました。アンテナ給電部のボックス内の空芯コイルが突風事故の衝撃で変形したのでしょうか。アンテナを降ろして、タワーに上ってコイルを伸 or 縮、タワーを降りて、アンテナ上昇、80m、75m帯のSWRカーブ測定。半日このシーケンスの繰り返し、合間に QSO で休憩をとりながらでしたが、少々疲れました。皆様が大阪にお帰りになられた頃には、まずまずのレベルに調整でき、週末の ALL

Asia に備えることができました。

普段、乱雑になっているシャックの整理や整備をするトリガーも頂きました。皆様がアマチュア無線に熱心に取り組んでられるご様子に刺激を頂きました。先日、VK2XT(Bill)の CQ に応答して QSO した際、彼は「今年 99 才、11 月には 100 才になるよ」と話していました。100 歳になって CQ が出せるなんていいな、あやかりたいな、と思いました。最近、CQ を出さずに呼びに回ることが多くなっている自分に気づき、CQ を出して積極的にハムライフを楽しみたいと思っています。

今回、お会いできた日本医師アマチュア無線連盟の各局長さんともお空でお会いできることを期待しております。私のほうこそ、いろいろお世話になり、楽しませて頂きました。どうぞ、皆様によろしくお伝えくださいますようお願いいたします。

73, DE JA3AOP/杉山 暁 from Awaji



カシミール3D 試用記

JH3TCC 家田勝幸(和歌山県)

過日のMARS総会でJA3AOP局のすばらしいご講演を聞くことが出来ました。お土産にアマチュア無線に役立つソフトということでKashmir 3D、MMANA、HAMCAPの三つのソフトが入ったCDを頂きました。中でもKashmir 3Dはすぐれもので、移動運用の地点からの見通し具合などを調べるのに便利です。他の二つは当局の天井裏のダイポールには適用されそうに無いのであきらめました。Kashmirは「可視」+「見る」が語源とか。

まず、自宅から見ると、西方向は和歌山市を超えたらすぐに海(瀬戸内海)が広がっています。東方向は紀の川に沿ってかなり開けた感じですが、南方向は紀伊半島の山々でかなり視界は悪くV、UHFでの交信は難しいようです。西方向にも山がありますが大して高くは無く、瀬戸内海方面に開けています。

例年、夏に高野山に移動して運用しています。西側以外には飛びが良くありません。Kashmirで見ると実によくわかります。山登りする人が使うソフトだけあって実に良くできていると思います。

最近では和歌山県医師会ハムクラブも高齢化で以前の様に夜遅くまで交信して、車で仮眠して又早朝から交信再開と言うわけにはいかなくなり旅館の庭から波を出すこともあります(写真1)。早朝には雲海が見られ、実に壮大です(写真2)。場所は高野山からさらに山奥に入った奈良県南部で和歌山県との県境近くです。地元では立里の荒神さんとして参拝者が多い神



写真1



写真2

社がありますが、その神社の参拝者が泊まる宿があります。夜中には宿の女将さんが握ってくれたおにぎりを食べながら波を出しています。Kashimirで見ると高野山よりもこちらの方が四方へ開いている感じです(写真3~6)。

フリーソフトですが、素晴らしいソフトで、瞬時

に状況がわかります。いわゆる“ばかちゃんカメラ”と同じで、カメラの方向、地上からの高さ等の設定でワンタッチでぐるりと一周して周囲を見渡せます。出来た絵もすばらしいです。地図の等高線が実体図に変換されて双眼鏡で覗いている感じで描出されます。すばらしいソフトです。

DX用にはどちら向きに開けているかもわか

りますが、当局の天井裏のダイポールではほとんど意味が無いので、見ておりません。VHF、UHFでの移動運用には運用場所を選ぶのに、大変有用なソフトです。各局も是非確かめて下さい。動きも大変軽いです。今回のMARS総会に参加されなかった局はアマゾンあたりで「カシミール3D」で入手出来ます。JA3AOP局に感謝。

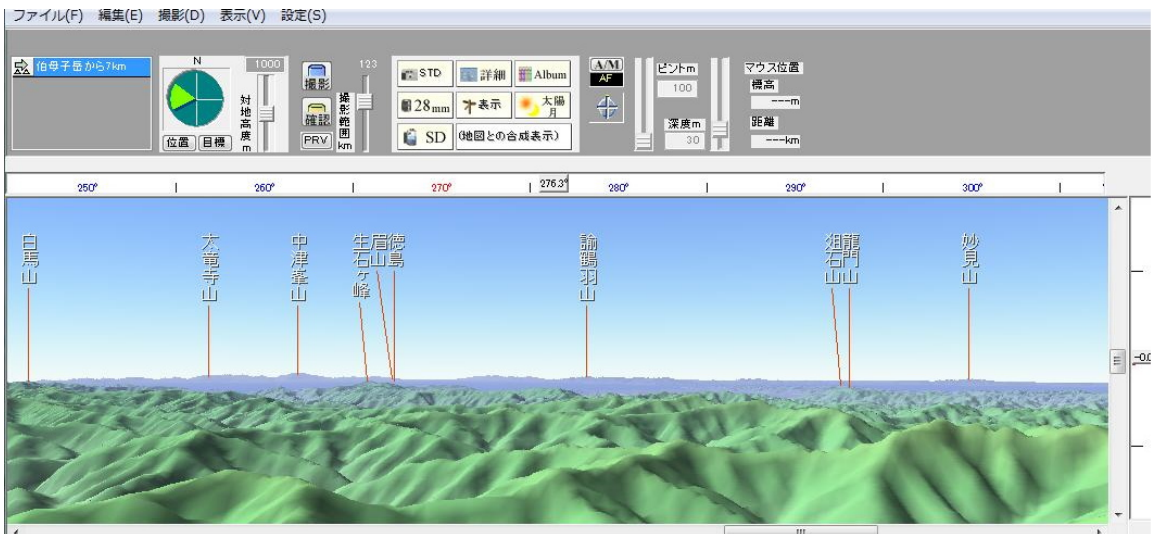


写真3 立里南向き

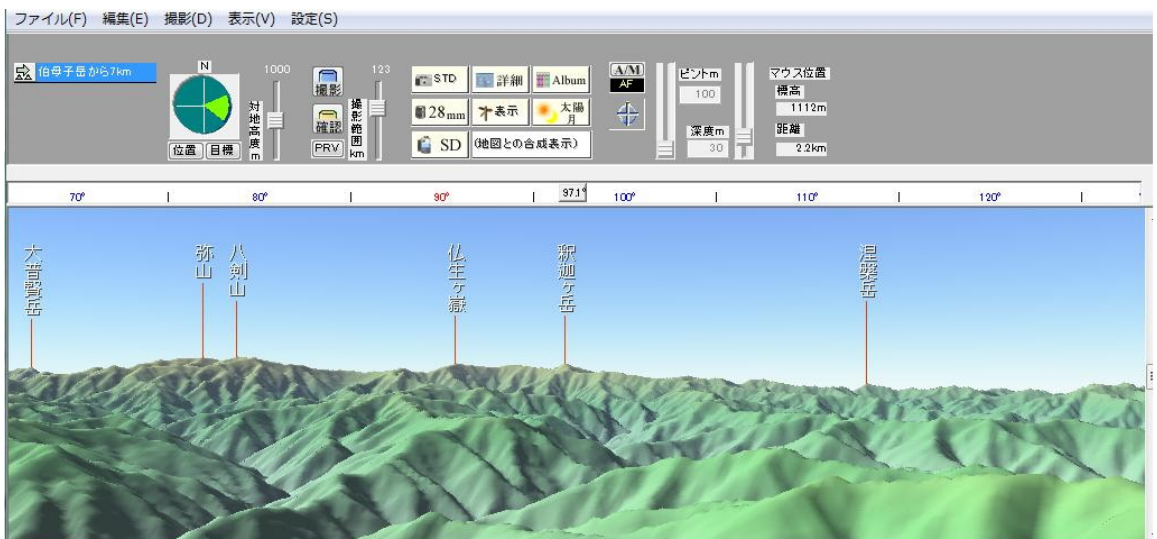


写真4 立里東向き

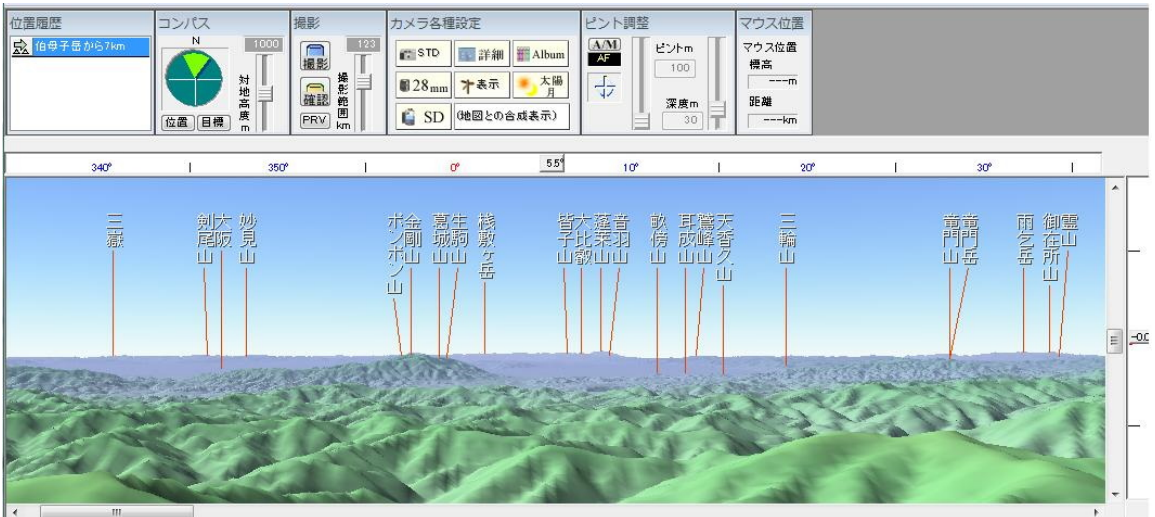


写真5 立里北向き

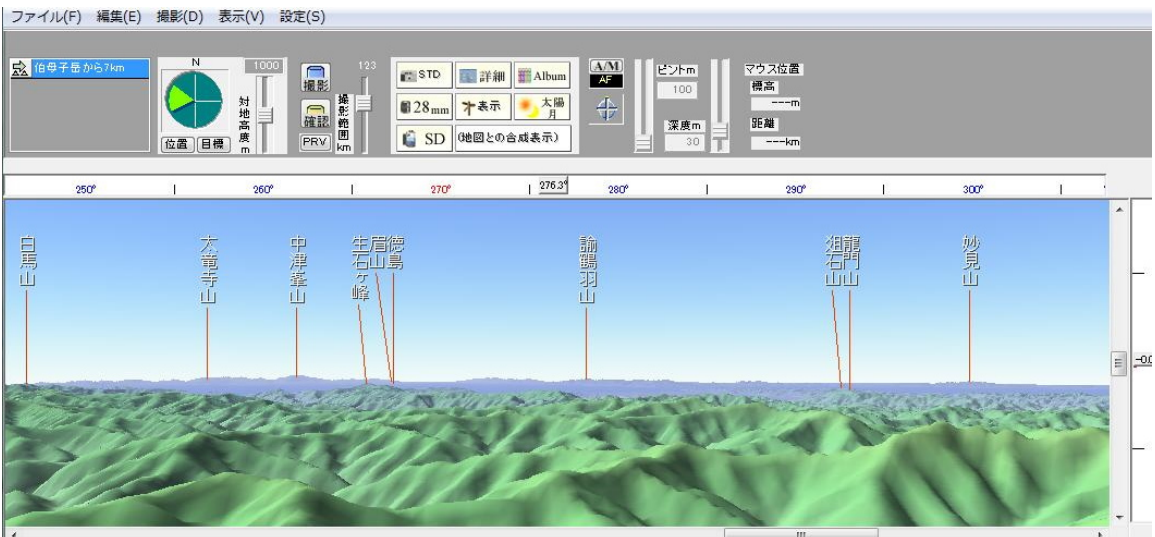


写真6 立里西向き

夢のシャック&鯛尽くし in 淡路島

JF3JON 田中憲児(和歌山県)

平成24年6月10日(日)午前7時半観光バスでメルパーク大阪出発。阪神高速環状線から神戸線、第二神明道路を經由して神戸淡路鳴門自動車道に入った。明石海峡大橋は全長

3,911mで世界最長の吊り橋であるが、平成7年の阪神・淡路大震災で1m延びた後の長さである。津名一宮インターで高速を出て、志筑の津名港でお迎えに来ていただいた JA3AOP

杉山暁 OM と合流してレンジローバーでバスを先導していただく。

以前は泉佐野港から南海淡路ラインのフェリーが津名港まで出ており、当局もモービルで時々利用していたが、2007年1月に廃止になっている。前回淡路島に宿泊予約した際にはフェリーで来るつもりだったが、廃止されていて止む無く今回の観光バスと同じルートで入ったことを思い出す。

JA3AOP 局の夢のシャックは、淡路市の大阪湾沿いの高台の別荘地にあり、自立型タワーとクランクアップタワーが海を見下ろす絶好のロケーションに建ててあった。当局の設置場所方面を眺めたが流石に見えない。シャックとして使っている大きなトレーラーハウスは、いったいどうやってこの別荘地のそんなに幅のない急坂を引っ張って上がったのであろうか。

海側に立てたクランクアップタワーの上に SteppIR を載せてあり、構造と動作の説明をしていただいた後に興味津々で補修用のパーツを見せていただきました。はるかに離れたご自宅から遠隔操作で運用できるようになっていて、現在タワーを建てている自宅から離れられない当局にとっても、転居しても転居先から運用できる可能性を見出すことができた。



2本のタワー



JA3AOP 局

JA3AOP 局の夢のシャックを後にして、再びバスで神戸淡路鳴門自動車道に乗り大鳴門橋を越えて鳴門北ICへ。高速出口を出るとすぐ大塚国際美術館に到着。世界初の陶板名画美術館で名画を堪能させていただいたので詳細なレポートを書こうと思ったのですが、当局には文学以上に美術を楽しむ才能がないため、他の各局にお譲りします。ご案内いただいた大塚国際美術館の平田部長に感謝いたします。



シャックとして使用されているトレーラーハウス



JH2QBQ 局ご夫妻

再びバスに乗り、大鳴門橋で鳴門海峡を越えて淡路島南ICへ。阿那賀の淡路島うずしお温泉うめ丸にて昼食。鯛尽くし料理をいただきました。明石海峡で釣られた鯛なのか、それとも友ヶ島沖で釣られた鯛なのか、とても美味しかったので近日中にまた食べに来ようと決意しました。

食後は再び高速道路にて、新神戸駅、大阪国際空港、新大阪駅と送っていただき、健康で再会できることを祈念して帰路につきました。



うめ丸にて



鯛の活造り

日本医師アマチュア無線連盟(MARS)の活動と入会方法について

MARS は、1977年(昭和52年)に創設されたドクターハムの親睦のための団体で、既に35年の歴史を持ち、次のような活動を行っている。

1) 総会と懇親会

毎年4月の第一土曜日の午後、全国各地で総会と懇親会を開催している。

2) 毎水曜日の朝、3.568MHz(05:30~06:30)及び 7.060MHz(06:30~07:00)付近でロールコール(MD ネット)を行っている。

3) 日本医師アマチュア無線連盟会報(MARS ニュース)を発行している。

4) MARS 医学アワードおよび MARS 医学アワードⅡの発行。

5) クラブ局(JM1ZZM)を設置している。

6) MARS のホームページを開設している。

URLは <http://www.jmars.jp/>
(談話室へのパスワードは mars)

事務局:

〒175-0092 東京都板橋区赤塚4-17-11
井上医院内

日本医師アマチュア無線連盟

電話 03-5968-5777

F A X 03-5968-5778

E-mail fumimasa@cb3.so-net.ne.jp

会費 : 入会金 5,000 円、年会費 8,000 円
入会方法: 事務局にご連絡下されば、入会書類をお送りします。

会長 及川忠人(JA7AOM)

VU2RBI Bharathi さんの国インド 雑観

JH3AEF 東條 純一(大阪府)



朝霧の中、荘厳な光を放つタージマハル

(I)

日程が充分とれず、かなり端折った旅になることは充分覚悟のうえの上であった。しかも悪いことに関空発着のインド航空が突然便を中止してしまった。西向きに飛ぶのに成田まわり、早朝に伊丹に駆けつけ、西向きの機上でようやく落ち着き眼下に映ったのが堺の仁徳陵と臨海工業地帯。一体今朝からのあのあわただしい6時間は何だったのだろう。

その後もずっと眼下を眺め続けた。昼間飛行ではそうするのが私のスタイル。決して通路側や翼上の席には座りたくない。少々トイレに不便しても物の数ではない。座席の前には小さい球形のジャイロを吊るし、ポケットにある航路地

図を何時でも眺められるように用意するのも儀式の一つ。おつむは全く機長気取りなのだから可愛いものだ。

昼の機中から眼帯や首枕などして眠れば到着後入眠不良になるのは目に見えているのと思うことしばしばである。

今回の飛行で何となく感激したのは、搭乗機の航路が自分のイメージどおりだということだ。高い運賃を払って機の航路のことなど気にする私は余程の苦勞性というものだが、EU や W に行くのに毎度のことながらオイオイと言いたくなるほど北上するナビゲーションが、解ってはいえるもののどうもシッカリこないのは私だけだろうか。まことに機嫌よくイメージどおりヒマラヤの白く輝

く峰々を右手に見ながら私のナビゲーションぴったりにはインドはデリー、インデイラ・ガンデイー空港に到着した。

(II)

VU2RBI Bharathi さん VU2DBP Plasada さんご夫妻は第一回の APDXC(アジアパシフィック DX コンベンション大阪)でお会いしたこともあり、また、同カンファレンスでの「アンダマン島沖地震と大津波の際のアマ無線による非常通信」の講演でもおなじみの局である。また私は今年の XT2 からの運用でもコンタクトをしたこともあり因縁浅からぬ局である。

HOME QTH はとみるとニューデリー、離日前に訪印の日程、ニューデリーでの投宿先のホテル名もいれてメールを送ると「すぐそばだ、時間ができたら連絡を頂戴、ヴェジタリアンだが dinner を一緒にしましょうよ。」と嬉しい返事が返ってきた。そこでホテルに到着後ただちに電話した。ロビーで待つこと15分もしないうちにご主人の Plasada 氏が運転手つきの車で迎えに来てくれた。やはりこの地でも福島原発事故のニュースは頻りに報じられているようで、盛んに危険は無いのかと案じてくれる。ただそんな話題の中で自分は政府のエネルギー関係の仕事にかかわっている、つい最近も VK まで石炭に関する仕事で出かけていた。私の仕事



Fig 1 VU2RBI Bharathi さん

はエネルギー関連だけど原発じゃないよ等と話をしながら、車はもう薄暗くなった街中を走りぬけ、ほんの 10 分ほどでお宅に到着した。玄関で出迎えてくれたのは RBI の Bharathi さん。ご家庭ではサリー姿でなく、くつろいだ普段着といういでたち、ポッチャリした顔つきと一寸低めの背丈は可愛いおばちゃんといった感じである。

居間にとうされる。片面にリグが並ぶ棚がありシャック兼居間として使われているようだ。最近 active なのは 6m、実に多くの JAs と contact ができていると。ただ、あまりにも多くの局が IRC を入れた SASE を送ってくるので困っているとも。VU では IRC を換金出来ないとか。US\$を余分に持っているのなら交換してくれないかと言われたが、旅の初日でもあり、それ程の余裕のあろうはずも無くやんわりとお断りした。VU へ SASE を送る際には green stamp が良いようだ。ぜひ皆さんに伝えてほしいとも。

奥のほうで食器の音がするのが聞こえていたが、音がしていたのは食堂であった。とうされて音の主が若くて愛くるしい女性、お嬢さんの VU3DSM さんであることがわかった。



Fig 2 お嬢さんの VU3DSM さん

もう一人、兄の VU2DVM さんがおられるのだが、W へ留学中で当日はお会いできなかった。なんでも正月休暇で数日後には帰国なさるとのことだ。お嬢さんも工学系の大学に在学中で間

もなく卒業と話していた。食事は御夫妻とお嬢さん、そして私の4人で食卓をかこむことになった。さぞかし辛い食事だろうなど覚悟はしていたが意外にいけるではないか。皆さんのやり方に倣って同じような食べ方で口に運ぶが、決して目をつぶって吞込むような恐ろしいものではなく一安心。大皿にお米、煮付けた野菜を何種類かのボウルから取り合わせ、これまた沢山のスパイスを好みによってかける。ここで初めて各人の食器の横に清潔な布きんがたたんで置いてあるのに気がついた。彼らは大皿に好みの料理や米を取り分けるのは杓子やスプーンを使う。しかし、自分の皿の上の食材と香辛料をまぜ合わせるところからは指だ。そのような話は何となく聞いてはいたが自分の座る食卓で出会ったのは初めて。異文化の特異性というものを強く感じさせられた一瞬である。テーブルに用意された手拭は必須であることもよく理解でき、食堂の片隅にしゃれた手洗いが設備されていることにも始めて気がついた。椅子に腰掛けテーブルを囲む一見どこにでもある食事風景だが、この国にはこの国の食習慣がごくあたりまえに営まれ、ここが異国の地であることを今更ながら強く感じた。

私の食器の横にはちゃんとスプーンとフォークが並べられていて、彼らの気配りが有難かった。それならと、お嬢さんに聞いてみた。大学の食堂などではどうするの？ちょっと意地が悪いことを聞いてしまったかな、聞かないほうが良かったかな、しかし、答えは明るくあっさり「スナックも多いし、若者はフォークやスプーンも日常的に使います」と聞いて何となくホッとした。食事がかなり進んだころ、奥のほうから人の気配、ふと目をやると老夫婦だ、Plasada 氏のご尊父夫妻で父は95歳と言われたように思う。食事

後、リビングにおいでになり、一家総出で賑やかに話はずんだ。(Fig-3)「日本から来たの、ここからは日本に行くのと、ロンドンに行くのとどっちも10時間、丁度真ん中や、昔は船で大変やった」少しお耳が遠いのか、びっくりするような大きな声、だがはっきり判る英語でかくしゃくとされていた。甘いものがお好きなのか盛んにケーキを食べろと奨めていただき恐縮至極。



Fig 3 お爺さんも一緒に

三世代が一つの屋根の下で、実に親しく、ごく自然に、しかもプライバシーがしっかり保たれた状態で過ごしておられる。日本もつい半世紀前まではこうであったのだが。日本の現状は、どうもこれとは違った方向に合理化の名の下に進んでしまっているように思える。遅ればせながら、あの頃以降の軌道修正はできないものだろうか。

話もつきなかつたが明日からの旅程もありおいとますることにした。帰路もまた同じ運転手が運転する乗用車に Plasada 氏が同乗しホテルまで届けてくれた。

(III)

VU という国をインドと一言でくっしてしまうにはあまりにも広大で、全土をざっと見てまわるだけでも一月ではとうてい無理とか。そんな広大な国だから地方による温度差も半端ではない。インド洋に面する南西部では最低気温が年中

20-25度、12-1月の日中は30度を越すのが常らしい。一方、ヒマラヤ山地に近いダーズリン地方では夏でも15度前後と涼しく、イギリス統治時代には快適な避暑地としてセレブが集まったとか。

で、私がこのたび訪ねたのはデリー、ジャイプール、アグラ。VUの黄金の三角地帯と呼ばれる観光スポットの集まる地域だが、位置的には大国の北端に近い地方である。即ちヒマラヤ山麓に広がる平野部である。愚かなことにVU即暑い先入観で出かけたものだから空港を出たとたんの肌寒さに完全に面食らった。最低気温は5度を下回ることもあるとか。これはまいった、真冬の大阪と変わらないではないか。その上1月は濃霧が出やすい季節とか。もう一寸事前調査をすべきだったかなあ。濃霧といえ、朝食前後にはホテルの庭先の木々がぼんやり霞んで見えるといった具合だ。その向こうから真っ赤な太陽が昇る光景は何ともいえず神秘的ではあるのだが。

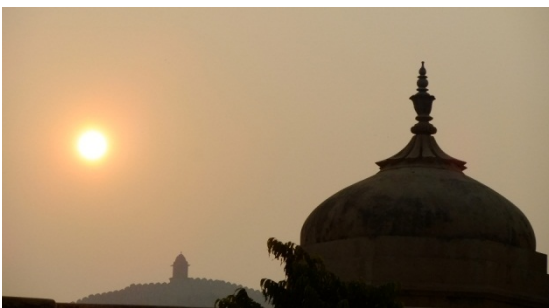


Fig 4 霧の中朝日が昇るジャイプール・アンベール城

時節的に冬場は乾季、日中の天気は毎日悪くなく、この霧も午前10時を過ぎるころには徐々に解消し、気温も日中は15度まで上がる毎日が続いた。

(IV)

神風ドライバーとは日本のタクシードライ

バーに与えられた専売特許の呼称ではなかった。今回の旅を境にこの考えは改められなくなかった。それほどにVUの交通事情には厳しいものが見られた。さすが首都の市街地では車も比較的整然と流れてはいるものの、それは一部の主要道路だけ、ひとたびわき道に入ると目を疑いたくなるような車のPILE UP、それが地方都市にいたっては「えっつ、そんなことあり？」といった有様である。

イギリス時代に技術がもたらされたのであろう。この国にはTaTaという有名な自動車メーカーがある。近年30万円台の軽自動車売り出したことで有名だが、この会社は実に多様な車を造っており、乗用車以外にもバスあり、トラックあり、トラクターあり、軽便タクシーや街乗りに使われている三輪の車ありである。

日本車ではスズキが断然多く。トヨタ、ホンダ、ニッサンと続くが、日本車全体とTaTaとが相半ばするような感じであった。

何がすごいといって、この三輪、軽タクシーに使われているものはモーターリクシャーと呼ばれている。何でも日本の人力車が語源とか。そう言われれば確かにモーターリクシャーがなまったとしてちっとも疑義はない。大方はメーターも取り付けられているれっきとした軽便タクシーである。



Fig 5 リクシャー即ち人力車



Fig 6 モーターリクシャー、
ちゃんとメーターもついています

このリクシャーの走りときたら砂糖に群がる蟻のごとく、どこから飛び出してくるか判らないし、平気で大通りを横切ろうとする。



Fig 7 どこにでも飛び出してくるんです、危ない！

信号待ちでも一寸隙間があれば車の前に頭を突っ込んでくるし、車長と変わらないような細い道路でUターンをする。全く我がもの顔の傍若無人さといった感じである。また、これを制する人や警官が全くいないのもこれまたすごい。

首都、空港近くの高速道路はさすがに立体交差となっていたが、ひとたび郊外に出ると、料金を払った高速道路が一般道と平面で交差するのが当たり前、しばしばひやっとする場面に出くわした。

田園地帯では、高速道路を一般道から乗り入れた車が走り、時には農作物を山積みしたトラクターが行く手を塞ぐこともしばしばであった。高速道路のパーキングエリアといったものは皆無だが、所々に簡易宿舎を兼ねた休憩所があ

る。残念ながら対向車線側であっても必要とあらばバスまでもが対向車線をを逆走して入ってしまうのには開いた口がふさがらなかった。濃霧が原因であろうと思われる激しい衝突車両が放置されている姿には心が痛んだが、さも有りなんである。

高速道路を出るや否や、これまたすごい渋滞に見舞われた。どうも数百メートル前方に交差点があるらしい。あたりも暗くなり、周辺の様子は定かでないが近くに人家は全く見当たらず、ただ前方で交差する車の明かりだけが筋をなし横に連なっている。車窓から脇を覗くと川面と思しきところにいさり火らしい灯がいくつかユラユラ動いていた。おそらく漁をしているのであろう。後から来た車が対向車線を次々に前に行く。左の道路わきには軽自動車が路肩ぎりぎりにせり出してくる。そんなところに出てきたら川に転落するよ、、

やっと後ろからパトカーが赤色灯を点滅しながらやってきた??? やっと、、と思いきや、あれは高官の車、この国ではお役人は赤色灯をつけて走るらしい。とっとと反対車線を先に行ってしまった。もう何十分渋滞の中に留まっているのだらう。

ほうほうの体でジャイプールの街中にこぎつけたものの、運転手さん、そんなに飛ばしてくれなくてもいいよ。大晦日で大混雑の人々が車道にまであふれ出ている路を神風宜しくすつ飛ばしてホテルにたどりついた。あー、運転手さんご苦労さん。明日はお正月です。事故が無くてめでたしめでたし。

(V)

朝のお努め。ロダン of の考える人よろしく、ただじっと座っているのも手持ち無沙汰。扉から差

し入れられた新聞を手にしてお努めに入った。新聞名は hindustan times となっている。数日前から日本の野田首相も訪印していたはずだが、それらしい記事は見当たらない。仕事から目についたのが disease fear (病気の心配) と題したこの記事であった。昨日からの交通事情からすると、この国には交通警察などいないのかと思いきや、ちょっと意外な記事である。

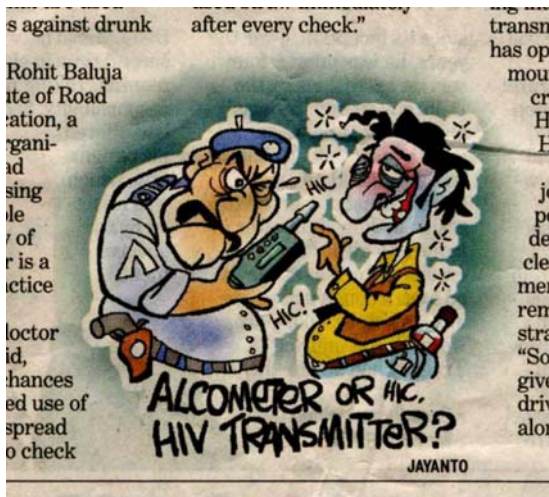


Fig 8 新聞のカットから。さて JA では？

中見出しには「もし警官に止められたら息をかく前に確かめよ」となっていて、以下に続いていた。al 変調で車を家路に走らせる時は気をつけないといけないよ。私は検問に立っている交通警察官のことを言っているのじゃないですよ。実はもっと重大な問題が有るのです。警官がこれ吹いて下さいといって差し出すあのアルコールアナライザーやアルコールメーター、そう、唇にくわえてフツとやるあの吹き口のあるやつことです。この吹き口が新しいものかどうかをしっかり確認しないと駄目ですよ。もしそれが毎回取り替えられていなければ、肝炎からエイズまでの感染の恐れがあるんだよ。

新聞社がデリー警察に問い合わせたところ

「飲酒運転検問に出ている警察官はアルコール検知器の吹き口の交換は面倒がらずにきっちりやっています」との回答で、一回の飲酒運転検問につき 200 ヶのディスポの吹き口を持って出るということである。

しかし、交通安全に関する非営利組織の交通運輸教育機構の R.B.氏は、飲酒検問に使うアルコールメーターのディスポのプラスチックの吹き口の再利用は当地では当たり前のことになっていると言っている。

一方、インド医療広報機構の責任者(医師)は問題の吹き口を取り替えないまま使い続けることは、感染性疾患の蔓延を助長するようなものだ。このようなことが原因の病気の蔓延を防止しようとするのなら、警察官はディスポの吹き口を検査する人ごとに毎回確実に新しいものと取り替えることを直ちに励行すべきだと述べている。

また、N.L.病院の HS.H.博士も以下のように話している。万一アルコールメーターの吹き口が肝炎やエイズに感染している人の皮膚や粘膜に接触したり、息を吐きかけられたりした状態で、そのまま使い続けられた場合、次に使う人の口中に傷があったり、口内炎が出来ていたり、唇にひび割れがあるようなケースでは容易に感染をおこしてしまい大変危険だと。

しかし、警察交通課の S.G.報道官は当署では現場に出ている警察官には従来より使用後の吹き口は直ちに抜き取り破棄交換するよう厳重に周知を図ってきたと述べている。

いつの日か酔っ払いドライバーにはこの吹き口を記念品として差し上げることになるかもとも！！！！

小さいながらも楽しいクランクアップタワー

JF3BIE 鍵本 伸二 (京都市)

MARS会員の先生方、はじめまして。京都市北区で糖尿病中心の内科クリニックを開業しております、JF3BIE と申します。このたびクリニック屋上に小さなクランクアップタワーを建てました。ビッグガン各局とは比べ物になりませんが、個人的にはなかなか気に入っております。

1. 自己紹介

開局したのは1976年で、ちょうど7J1RL 沖の鳥島 DX ペディションが行われた年です。当時中学生だった私はお年玉を貯めてやっと手に入れた中古の TS-511X と縦振電鍵、10W 出力+屋根より低い LW(しかもろくなアースがとれていない)で必死になって呼びました。結局一度も交信できませんでしたが、それでも一大イベントの参加者になったような気分でワクワクしていました。それ以来、HF~6m の主に CW で細々と無線を楽しんで来ました。大学の教養課程ではクラブ(JA3YDS、今は廃部になってしまいました)で楽しく活動していましたが、専門課程に入った頃から医者になって暫くは(多くの先生方もそうであろうと思いますが)局免こそ維持していたものの、全くの QRT 状態でした。

10 数年前京都に自宅を構えてから、自宅(木造 2 階建)の瓦屋根の上に 4m のルーフトワーを建てて、トライバンダー等を載せていました。だんだん物足りなくなつて 2004 年、蓼科高原(八ヶ岳中腹)にセカンドシャックを建てて JJ0LNL を開局しました。JJ0LNL のロケーションは標高 1500m の尾根上で東方向以外の 270 度は全く障害物がありません。VHF の電界強度が極端に弱いところで TVI が消えず、KW 免

許はもらえていませんが、200W+トライバンダー(10MHz 以下はいい加減なスローパー)で結構快適に楽しんでいました。もっとも、私の「快適」のクライテリアがかなり低いかも知れませんが。

開業前は土日が休みでしたので、金曜の夜から蓼科シャックに通っていましたが、諸事情から 2006 年秋に現在のクリニックを開業し、土曜が休めなくなったため、無線はまたまた開店休業状態に陥りました。あつという間に開業5年をむかえ、時間的にも心理的にも多少のゆとりが出来はじめましたので、京都でも楽しめるように環境整備しようと、今回のタワー建設となりました。

2. タワー選び

私のクリニックは京都盆地の北西の端で中心部より多少標高が高い所にある、3階建ての小さなビルを一棟借りて開業しています。屋上タワーを実現するに当たってはまずビルオーナーの許可が必要ですが、これは予想通りすんなり OK でした。次にタワー選びです。もちろん「高ければ高いほど」「強ければ強いほど」と言いたいところですが、最初からそのように設計された建物ではないので、屋上への加重や防水層への影響なども考えねばなりません。また、患者さんが恐れをなして来なくなったら大変ですので、あまり目立ちすぎない配慮も必要です。

ということで目をつけたのが、FTI の TMM541SSJ、最短 3.5m、最長 12.5m という小さ

なクランクアップタワーです。これでも屋上に設置すると最長時には地上高 22m 強、マストトップは 25m 近くなります。また最短 3.5m まで縮めるとアンテナのメンテナンスもかなり楽に出来ます。FTI に注文したのは平成 23 年夏でしたが、私が注文した直後に FTI のホームページからこの型番が消えてしまいました。後日たずねたところ、売れないので取り扱いを止めたとのことで、私が注文したものが売れ残っていた最後の一本だったそうです。

ただ、FTI の阿部さんによると「おかしなもので、2 年以上一件も引き合いがなかったのに、鍵本さんから注文をもらってから急に、これが欲しいという注文が 4-5 件たて続いたんですよ。全部お断りせざるを得なかったけど、かろうじてお一人だけのご不要になった局の中古を回して建てて差し上げることが出来ました」とのことでした。そういうと我々の仕事でも、たまに珍しい病気の患者さんがくると、別に流行り病でもないのに、似たような症例が続いたりしますね。世の中不思議なものです。

3. アンテナ選び

さて、タワーを決めたらどんなアンテナを載せるか、楽しい悩みが続きます。自作している時間はとでもありませんので、恥ずかしながらメーカー製が前提です。一応 14MHz のフルサイズ 4 エレ位なら隣家への領空侵犯にはなりません、出来るだけ目立たないようにしたいという建て前と、できるだけよく飛ぶアンテナが欲しいという本音がせめぎ合います。トラップを使わないアンテナにしたかったので、SteppIR、HexBeam、キュービカルクワッドなどを中心に検討していました。

あれこれ考えていたとき、米国の SteppIR の

ホームページでコンパクトなアンテナを岩礁の上に建てて運用しているペディションらしい写真をみつけ、眼が釘付けになりました(図1)。説明では全てのエレメントがベントダイポール型になった 14MHz-50MHz の 3 エレ(14MHz だけは 2 エレ)とのこと。「これだ！」と輸入代理店である BeamQuest に日本への入荷見込みについて問い合わせたところ、同社の土佐さんから「ホームページにはまだ載せていないが、注文は可能で秋には入荷できる」との返事を頂き、即注文しました。

4. 施工

FTI にタワーを注文した時点で「まだアンテナも決まっていないので工事は全然急ぎません」と言ってあったせいか、冬になってやっと工事の下見に来てくれ、ステーのとり方などを含めて全体のプランがまとまりました。

図1 SteppIR のホームページに載っていた写真

THE NEW DB 11...
If it fits here, it will fit anywhere!
Truly small size with truly big performance.

SteppIR™

INTRODUCING THE NEW DREAM BEAM 11
INTRODUCTORY PRICE - \$2195.00
WEIGHT - 63 lbs (28.57kg)
WIND LOAD - 63 lbs (28.57kg)
TURNING RATE - 10.5 (0.20m)
FREQUENCY COVERAGE - 14MHz - 64 Mhz
BOOM LENGTH - 11ft (3.35m)
LONGEST ELEMENT - 19 ft (5.79m)
POWER RATING - 3KW continuous
BAND ACTIVE ELEMENTS

20m	2
17m	3
15m	3
12m	3
10m	3
6m	3

Refer to our website for more technical specs and gain figures as they are released. The DB 11 will be available in the Fall of 2010. Get your name on the order list now.

BS7H
W6RGG on Scarborough reef DXpedition.

2112 116TH AVE NE SUITE L-5, BELLEVUE WA, 98004 WWW.STEPPIR.COM TEL: (425) 493-3910 FAX: (425) 462-4415
Picture is an artistic rendition to show scale and portability of antenna.

H 型鋼で基礎を作り、屋上の防水層を傷つけないように硬質ゴムを敷いた上に載せ、その上にタワーが建ちました(写真2)。

京都は高い建物が少ないので、完成したタワーを延ばすとこれでもかなり目立ちます。しかし縮めると DB-11 は隣のビル(4 階建て)の屋根と同じ高さで、殆ど目立たず強風の時にも安心です(写真3、4)。

ステーは 3 方向で、2 箇所は特注のアンカー金具で建物の壁を挟み込み、1 箇所は既存のアンカーリング(非難器具を取り付けるためのもの?)からとります。アンカー金具を一般の鉄工所に頼むと詳細な図面を持っていかないと作ってくれないが、ワカマツ製作所(CQ タワーの会社)なら大まかな条件を伝えるだけで意に沿ったものを的確に作ってくれるとの事で、FTI からよく依頼するそうです(写真5)。

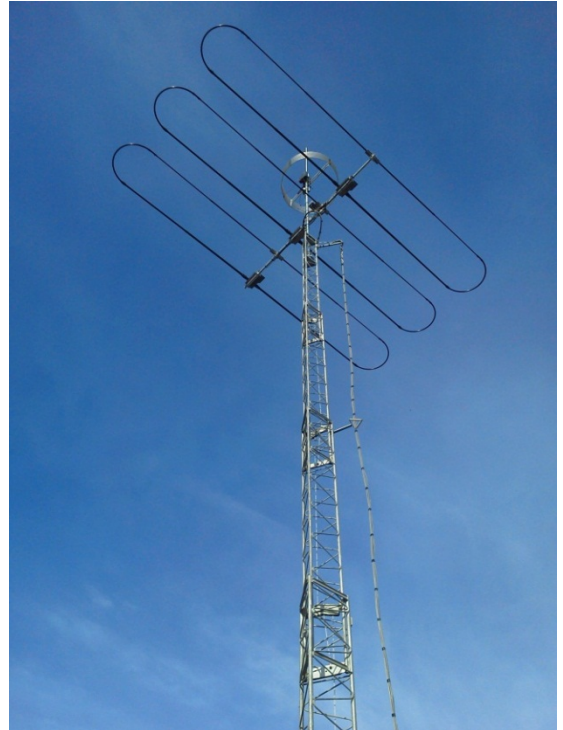
建物を傷つけないよう十分配慮して施工して
写真2 工事の様子。タワーの右奥は比叡山



くれましたが、屋上の防水層が全体に経年劣化していたこともあり、結局この基礎やステーアンカー全体を巻き込む形で防水工事をビルオーナーが施してくれました。防水工事は業者によってやり方や見積もりがばらばらで、基礎やステーアンカー部分の扱い方も全然違います。ビルオーナーと一緒にいくつかの業者の話聞き比べて勉強になりました(写真6)。

5. SteppIR アンテナ

アンテナは部品不足などがあると困るので、日本に届いたあと BeamQuest から FTI に直送してもらったところ、事前にエレメントの駆動部分を全て組み立てて、工事の日に持ってきてく
写真3 完成したアンテナ、タワーを目いっぱい伸ばした状態。DB11 の上にはスモールループ+ATU(残念ながら ATU がすぐに壊れてしまいました。100W しか入れてないんですけど・・・)、144-1200MHz の GP が載っています。



れました。SteppIR の構造には興味津々で、自分で組み立てたかったのが残念でしたが、自分でやっていたらかなり大変だったかもしれません。今年の MARS 総会に出席された方は、JA3AOP 局の「夢のシャック」で SteppIR アンテナ
写真4 タワーを縮めた状態。私は「目立たないようにうまく出来た」と思っているのですが、XYL は「ものすごく目立ってる」とあきれています。



写真5 特注のステーアンカー金具

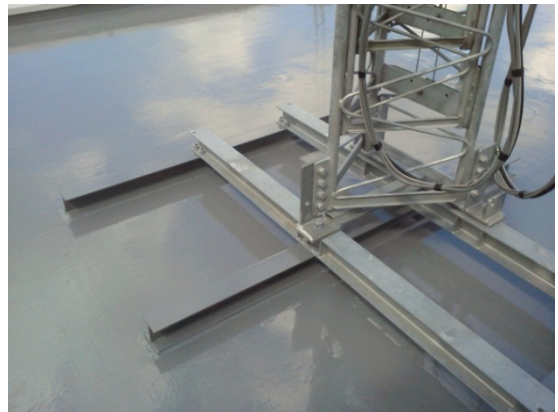


ナをご覧になったことと思います。当局のアンテナはAOP局に比べると大人と赤ん坊のようなコンパクトさですが、基本構造は同じです。外から見えるのはグラスファイバーのチューブで、本当のエレメントはその中を通っているベリリウム鋼の薄板です。この薄板が金属の巻尺の様
写真6

(A)タワーの基礎部分。硬質ゴムの上にH型鋼を組んだ基礎を載せています。



(B)後日そのうえから防水工事を追加しました。



に伸び縮みすることによってどの周波数にも同調できます(写真7)。エレメント長はシャック内のコントローラーから調整しますが、コントローラーとリグを接続すると、運用周波数にあわせて自動的にエレメント長を調整することもできます。VFOを回すとそれに応じてエレメント長が変わりますので、静かな夜には駆動音が若干気になりますが、バンドの端から端までどこでも最適条件で使用できるのは大きなメリットです。

6. 使用感

残念ながら本業が忙しくて、飛ぶかどうか胸を張って報告できるほど使っておりませんが、使った範囲での印象をご報告します。14MHzは2エレ、18-50MHzは3エレで、しかもブーム長はわずか3.35m、エレメント長は5.79mしかありませんから、それほど期待せずに使い始めたのですが、ビームの切れは明らかに予想以上だと思えます。今まで使ったことがある2エレ八木では、カタログデータは別として実運用でのF/B比はせいぜい10dBあまりと思っていました。しかしDB-11では(Sメーター読み+自作ステップアッテネーターでの簡易評価ですが)、14MHz(2エレ動作)ではF/B比約16dB、18-28MHz(3エレ動作)では約20~24dBとれています。

このアンテナは同じバンド内であっても運用周波数を変えるとそれに合わせてエレメント長を変えますので、バンド幅をカバーするためにゲインやビームパターンを犠牲にする必要がありません。いわばガチガチに性能を追求した究極の狭帯域アンテナを、どの周波数でも使えるわけですから、通常のモノバンド以上の性能を引き出せるのではないかと考えています。

7. あとがき

最後になりましたが、せっかく手に入れた設備ですので、何とかしてオンエアする時間を増やしたいと思っています。また、MARS ネットにも参加できるように、近いうちにローバンドのアンテナも整備したいと思っています。お空でお会いできましたらどうぞよろしくお願い申し上げます。

写真7 SteppIR の構造と動作原理、コントローラー。

(写真提供: BeamQuest 土佐様)

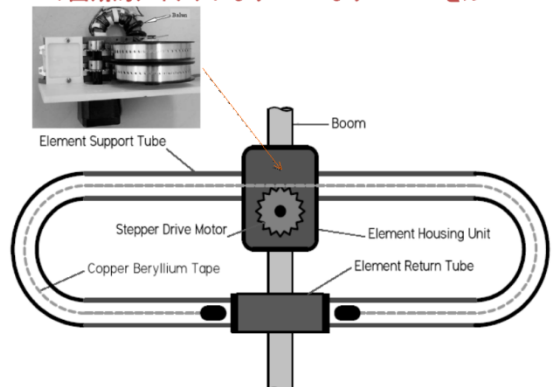
(A) SteppIR アンテナのエレメント駆動部。これが各エレメントについています。



(B) エレメント全体の構造

DRIVENエレメントの構造

この画期的アイデアにより7MHzより50MHzをカバー



(C)コントローラー



新入会員

JA7WTH 中川 洋 先生

仙台市宮城野区

庶務とMARS ニュース

入・退会、コールサイン、住所の変更などの事務手続きはMARS事務局へ。

(事務局)

〒175-0092 東京都板橋区赤塚4-17-11

井上医院内

日本医師アマチュア無線連盟

電話 03-5968-5777

F A X 03-5968-5778

E-mail fumimasa@cb3.so-net.ne.jp

MARS ニュースへの御寄稿は、

〒640-8331

和歌山市美園町5-1-8山榮ビル3階

眼科田中クリニック内 MARSニュース編集部

電話 073-427-3010

F A X 073-427-2135

E-mail marsnews@tanakaclinic.jp

まで、お送りください。

パソコン(またはワープロ)の場合、再入力の手間を省くため、フロッピーディスクもしくは CD-R の郵送、または E-mail でお送りください。特殊記号などが文字化けすることがあり、プリントアウトした原稿もファックスまたは郵送してください。

編集後記

JA3AOP 局のメッセージの中に VK2XT 局が 100歳にお成りになって CQ を出しているというお話がありました。思い起こせば中学生の時、初めての DX 交信をしていただいたのが VK2 X-ray Tokyo 局でした。何時までもお元気で On Air していただきたいと祈念いたします。贅沢な願いですが、私も50年後にハムを続けていられたらいいのになあ。

DE JF3JON

日本医師アマチュア無線連盟会報

(第72号)

発行：日本医師アマチュア無線連盟

発行日：平成24年12月21日

編集：田中憲児(JF3JON)

印刷：西岡総合印刷株式会社

Tel073-425-1341 Fax073-436-0855

URL <http://www.nishioka.co.jp/>E-mail info@nishioka.co.jp